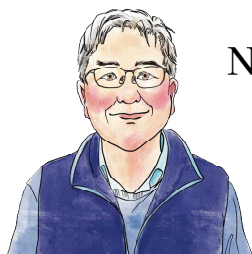


赤江 公民館だより

赤江地区民 みんなの合言葉

- 気持ちのよい あいさつを交わしましょう
- ごみを拾って きれいな町にしましょう
- 青少年の非行を防ぎましょう

赤江交流センター発行 TEL・FAX(0854)28 - 8982
メールアドレス akae.cs@city.yasugi.shimane.jp



No.205 令和8年9月号

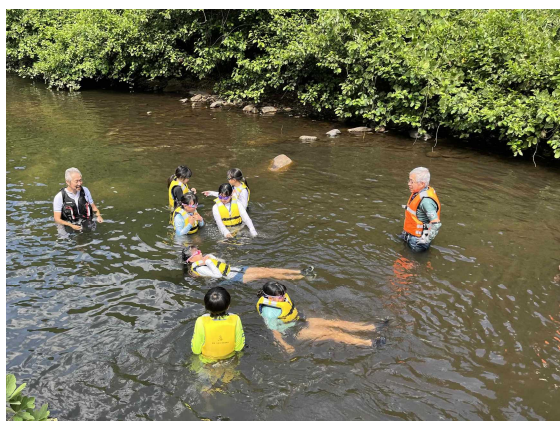
館長のよもやま話

9月となりました。1日は「防災の日」と指定されていますが、私の記憶では「関東大震災」の日であったと記憶しています。当地区だけかも知れませんが「かざび」として赤江八幡宮でお祓いをしてもらっています。災害との関係があるかは分かりませんが、二百十日に相当するからでしょうか。それでも8月の猛暑と打って変わって、9月の突然の豪雨で、お陰で我が家の苺ハウスの畝立てには苦勞しました。とは言いながら、日本各地で線状降水帯に遭遇し、短時間で床上浸水するなど、マスコミの情報からではありますが、いつどこで発生するか分からないものと改めて感じているところです。

さて、いつもの事業報告を致します。

あかえめだかクラブ 『川遊び』

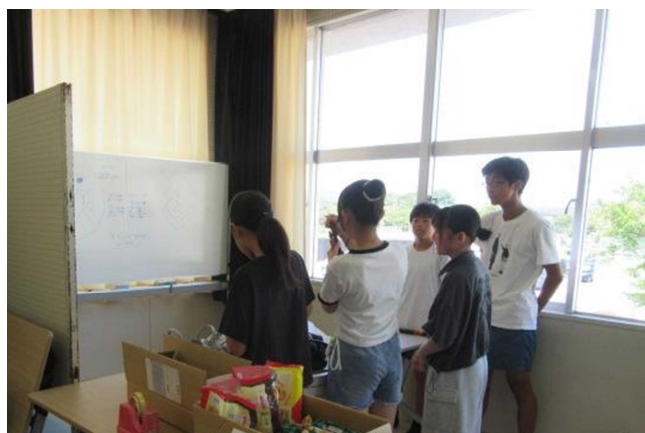
8月19日(水)、めだかクラブで井尻小学校隣の伯太川で『川遊び』を行いました。参加希望者が8名と少なかったのですが、例年どおり、レクリエーション協会の方のご協力をお願いし実施しました。この時、まだ渇水状態でしたが、川の水は十分あり、参加した子どもたちは、それなりに楽しんでくれたように感じています。その後、交流センターに帰り、昼食はボランティアの方に用意して頂いたうどんとおにぎりを食べました。午後の活動では、テントの組み立て方やロープワークも教わり、子どもたちの理解力の高さに感動しました。私ならすぐには理解できない結び方をはるかに早く理解出来ていました。



あかえマルシェ

16日(日)、『あかえマルシェ』を行いました。本当に多くの皆さんに出店いただくことができました。来店された皆さんにくじ引きを行いその数を数えてみたところ、250名以上の皆さんにご来店いただいたようです。当日は暑く、キッチンカーで出店いただいた皆さんには大変な思いをさせたように感じています。それでも地元で体のメンテナンスに関わるお仕事をしたり、小物を作っておられる方など、本当に多くの方に出演いただき盛り上げてもらいました。それと今回も19名の中・三中の生徒がイベントの企画やその他出店ブースへの協力をしてくれるなど、大きな力をもらいました。AI 万能時代?のような風潮がありますが、若い世代でこうした活動に参加することは今後の人生に大いなる収穫物があると思っているのは旧世代の私だけの思いでしょうか。

更に当日の夕刻、今年度の『町民体育大会』の概要について赤江スポーツ協会長から各ブロック長に説明され、今年は開催できる天候状態なら当日の午前中に会場準備し午後開催という初めてのやり方で開催することを理解いただきました。



「あかえマルシェ」の様子

防災学習会

＼ 備えよう！ ／



防災グッズ



あかえマルシェと同日の夕方、各自治会長の皆さんを対象とした『防災学習会』を開催し、安来市防災課の方からお話をさせていただきました。

本当になぜか毎週どこかで「線状降水帯」が発生し、多くの被害に遭遇する状況で、いつか赤江でも起こるかも知れないと思ったとき、地域としてどう対応できるのか改めて感じているところです。交流センターが一次避難場所に指定されていることもあり、また、かねてより、飯梨川が決壊した場合、現在のような多くの立木が川に密植されている状況で、もし万が一のことがあれば大変なことになるもののご意見をいただいておりますが、心配なこととして片づけてよいものかと思っています。



「防災学習会」の様子

女子カフェ 『私だけの手作り器と小さな植物 ～植物の植え付け～』

9月となり、5日(土)、前回話した三島陶芸家の指導により作成した器を活用して、カエデ苗を中心に『苔玉ふう寄せ植えづくり』を2名の希望者を中心に行いました。当初は、文化祭展示を前提としてでしたが、そのころはもしかして「落葉」しているかも、と思い早く開催しました。皆さん個性的な作品を作ってもらいました。そうでした、器づくりでは、本当に失礼ながら今一のできかなあと思っていましたが、その作品の何とも素晴らしい仕上がり状態をみて感動しました。その上に苔玉を載せるのはもったいないようにも思いました。文化祭までに上手く育ておれば展示してもらう予定です。

11月8日(日)には多肉植物の寄せ植えを予定しています。



「女子カフェ ～植物の植え付け～」の様子

あかえふれあいミニコンサート開催

6日(日)、実行委員会の皆さんにより、あかえふれあいミニコンサートを行っていただきました。「歌でめぐる心の旅」と称してなじみの歌からクラシック、ミュージカルまでの本当に幅広い曲を地元ソプラノ歌手の渡邊志津子さんと電子オルガン奏者の干村浩子さんによるコンサートを開催しました。私は、全くの音楽音痴ですが、本当に心地よい時間を皆さんと共有できたように思います。渡邊さんのほばマイクを使わない生歌、そして干村さんの駆使されて様々な楽器の音を取り入れた演奏、多分、来られた皆さんに喜んでもら



「あかえふれあいミニコンサート」の様子

えたように確信しています。実行委員長の岩田さんをお願いしていることは、この赤江でなかなか演奏会に出かけられない方にも生の演奏を聴く機会をつくることです。岩田さんには予算的に安価で無理を言いながら、毎回、皆さん喜んでもらえる方に出演してもらっており、感謝の限りです。また、実行委員の皆さんには、会場の装飾から当日の運営にも主体的に行っていていただいています。是非、これまではお越しいただけてない皆さんも、ちょこっと出かけてもらえればと思っています。心地よいひとときを一緒に過ごしませんか。

熊本地震災害義援金へのご協力有り難うございました

今年7月に発生した地震災害に対しての義援金募金活動をあかえマルシェ及びあかえふれあいコンサートで行いました。9月16日(水)現在、集まった義援金26,479円は、赤十字を通じて被災地へ送りたいと考えています。しばらく交流センターの事務所に募金箱を設置していますのでご協力ください。

この夏、あまりにも暑くて、日中外に出れず、手元にある昔読んで時間つぶしをしていました。その本のひとつ、五木寛之さんの「大河の一滴」の中の一文「言葉には、人間の肉声から伝える言葉と、文字を通じて伝える言葉と、二つあると思います。」とありました。本当につたない文章ですが、この本を読んでちょっと意を強くしました。

おしらせ

赤江地区生活支援協議体(ちまちだ)ではボランティア組織「結いの会」で支援活動をしています。関心のある方は、赤江交流センターへお問い合わせください。

赤江交流センターTEL 28-8982

地域生活支援
結いの会

あなたの「できること」が、
誰かの助けになります

支援できる方募集!

～ みんなで支え合う、安心の地域づくり ～



こんな方を募集しています

- 地域の方のお世話を、少しでもしたい方
 - 年齢、性別は問いません
- ※活動できる日・時間は相談のうえ決定します。

あなたの力をお貸しください!



お手伝い内容

草刈り・
庭木の手入れ



小さな木の
伐採



話し相手



電球交換などの
軽作業



NEW!

移動支援(送迎)



自家用車を使用します



あかえふれあい食堂



健康体操
(こけないからだ体操)



今は、交流センターを会場とする「あかえふれあい食堂」と「健康体操(こけないからだ体操)」に限りします。

◇10月の赤江交流センター行事予定

1日(木) **ちょこつと喫茶**(10:00~12:00)

昭和の懐かしいレコードを聴きながらちょこつとおしゃべり。

毎月1日にオープンしています。

「ちょこつと行ってみるか」と気軽な気持ちでコーヒーを飲みに来てください😊

4日(日) 赤江地区町民体育大会 13:00~16:00

18日(日) わくわく広場 いも掘り *詳しくは赤江小学校を通じて配布するチラシをご覧ください

19日(月) あかえめだかクラブ 稲刈り *詳しくは赤江小学校を通じて配布するチラシをご覧ください

25日(日) あかえふれあいウォーキング大会(川東下コース) *詳しくは今月のチラシをご覧ください